

河川基金助成事業

「水の流れるを感じる日々の積み重ねから川の生き物に関心を寄せて」 報告書

助成番号：2023 - 7111 - 066

東京都町田市幼保連携型認定こども園正和幼稚園

園長 氏名 大崎 志保

2023 年度

様式9

[学校部門 幼稚園・保育所・認定こども園等]

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名		施設名			
2023-7111-066	水の流を感じる日々の積み重ねから 川の生き物に関心を寄せて		幼保連携型認定こども園 正和幼稚園			
所在地	東京都町田市山崎町 2261-1	対象河川名	鶴見川・真光寺川			
対象園児	年長 (14人)	活動時間	9月～3月			
河川教育の目標	日々の暮らしの中で、水と触れ合い、水の性質を体験からあじわう。園内にも、井戸から1.5m ごと3段階に水が流れる水路(ウッドリバー)などの環境がある。水の流れなど、雨どいなどの 道具も使い試して、工夫して、流れを変え、流れをつくりだす経験を積み重ねる。子ども同士、 水を使った遊びで言葉で伝えあい、川や海の生き物、石、魚、虫、鳥などの動物や植物にも想い を寄せ、調べていく。					
子どもに育成し たい能力	水の流れの変化、水の形状変化、季節や時間による水の体感温度など水の性質を、五感を通して 繰り返し遊ぶ中で経験から学びとる。水は、人間にとっても、動植物にとっても、とても大切な ものであることを知り、気づきを他者と伝えあう。川の周辺にいる生き物や植物にも、想いを寄 せ、もっと知りたい、調べ他者に表現する機会を持つ。実際に、川に行き、川の周辺環境を知り、 大切にしたい気持ちをもつ。					
評価の観点	環境：水、川、水辺の生き物・植物等に関心を寄せ、 <u>実際に触れ、自然の大切さに気付く。</u> 人間関係：水や川についての性質で自分が気が付いたことを伝え合う。 <u>互いに意見を出し合い、</u> 目標に向かって <u>協力し合いながら活動</u> をしている。 表現：実際に川に行き、見てきたこと、感じたことを <u>豊かな感性にて表現、想像しながら様々な</u> <u>素材を使用し、製作した物を発表し、他者に伝える力を育む。</u> また、発見したことを絵で描いた。					
学習活動の内容と成果						
① 奥多摩散策では、山の溪流に実際に入り、五感を使って水の冷たさや流れの速さを味わった。川の周辺にいる生 き物や植物にも想いを寄せ、探索する姿が見られた。参加した園児を中心に、地域の川へ興味が広がり、子ども たち自身で川の近くまで行ける場所を調べて、その調べた川に行く活動につながった。						
② ポレポレストーリーでは5歳児14名が実際に行った川を表現し、発表した。園庭にあるウッドリバーから、水 の流れに興味を持ち、実際に川を見に行くことに繋がった。川に行くと、上流と下流があること、流れの速さの 違い、泡があること、石は下流の方が多いこと、生き物がいることを知った。それを様々な素材を使って、試行 錯誤しながら、ビニールに絵の具やクレヨンで色を再現し、泡には緩衝材を使用、石が粘土で大きさや堅さ・色 を付けて再現した。保護者に見てきた川の様子を、創作した川を動かしたり、言葉で説明しながら発表した。						
③ アートストーリーでは、川の様子を、今までの創作物に手を加え、展示した。行く前に、川が凍っているかもし れない、生き物に変化があるかもしれない、と予測して行ったが、実際には大きな変化はなく、水量が少し減っ ていることに気づいた。上を歩いたら川が流れている感じが感じられるように、大きなビニール袋の間に、溶か した複数の色の絵の具を入れ、上を歩くと絵の具が動くようにした。たくさんの人が川の上を歩いている表現を した。						
河川教育を通じ て見られた子ども の変容	園庭にあるウッドリバーで <u>流れの速さに着目</u> して、葉や花びらを流す姿が多く見られるようにな った。また、子どもたちが園庭に出る前の静かな環境の中、 <u>ビオトープに飛んでくる鳥(セキ レイ、ヒヨドリなど)がいることに気づいて、静かに観察するようになり、鳥のエサ台にエサを 置いて、鳥が飛んでくるのを期待している様子もある。</u>					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等	関係団体(漁協、農協)等		企業	その他	
支援の概要	奥多摩にある多摩産材情報センター「森と市庭」の敷地にある川を使用。また講師をしていただ いた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	水の流を感じる日々の積み重ねから 川の生き物に関心を寄せて			パワーポイント 動画		
今後の課題・展開						
園庭のビオトープに生き物が住めるよう、整備をし、子どもたちの水辺の生き物への興味関心をさらに深めていく。 また、開戸親水ひろばに季節ごとに行き、四季の変化があるかを子どもたちと継続して観察していく。						

キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

5歳児 アートストーリードキュメンテーション①

学校法人正和学園
幼保連携型認定こども園 正和幼稚園
2024年3月1日

「ようこそきたのおみせやさん」

「映画館作ったからお店屋さん作りたい！」とお客さんを呼んだ経験から作ったものを飾るお店を作り始めます。
「お花屋さんが良いな」「おもちゃ屋さんでもいいな」とグループで話し合い何でも飾るお店をに決めました。看板は以前に木の板に釘を打ち、毛糸を巻き模様を作った経験のある子どもたちが大きな木の板に釘を打ち毛糸を巻こうとしています。

人に見せる経験から発展したお店屋さん。協力して看板や商品を工夫しながら作っています。



「ギョギョ トントン おうちをつくろう」

ボレボレストーリーで、作った木の家をやすりで磨いています。
「らぼらぼらのじかんでやったから、上手にできるやり方知ってるよ！」
「80番のやすりからやってみよう！」ここ、ささくれになってる！」
「みんなが使うには、もっとびかびかにしないと！」
「じゃあ、1000番のやすりでやろう！」
友だちと話し合いながら、触り心地を確認しながらやすっていきます。
「今度は屋根つけたい！」「壁みたいにしたらいんじゃない？」
木の家を更に本格的にするために話し合いや、製作が進んでいます。



「いらっしやいませ はなび たいかいへ！」

ボレボレストーリーで花火を表現したことを今度は絵にしたい！と話す子どもたち。
紙じゃなくて違う素材に描けないかな？と考えます。
「透明な袋に描いてみる？」と聞くと「やってみる！」とクレヨンで描いていきます。
「重ねたら綺麗に見えるよ？」
「袋だから膨らましてみたい！」と様々な広がりが見られます。
どのように飾るのか、新しい表現方法はないか模索しながら協力して花火を作っています。
袋越しに重なる様々な花火をお楽しみに。



「きらきら びしゃびしゃ かわのせかい」

「もう1回川を見に行きたい！」11月に鶴見川と真光寺川を見に行った子どもたち。
「寒くなったから川の水、凍ってるかな？」「何か生き物いるかな？」季節ごとの川の変化に興味を持ちます。
実際に川を見に行くと、「川凍ってないね！」「川の水が浅くなってる！」「鳩がたくさんいる！」
新たな発見もありました。
園に戻り、「鳩がたくさんいたから鳩作ろうよ！」「大きな石もいっぱいあったから作ろう！」
自分たちで見たものを思い出しながら様々な素材を使って表現しています。



5歳児 アートストーリードキュメンテーション②

学校法人正和学園
 幼保連携型認定こども園 正和幼稚園
 2024年3月8日

「ようこそきたのおみせやさん」

釘を打った板に色々な毛糸を引っかけおみせやさんの看板を作ります。友だちと色を交換し合いながら思い思いに毛糸を引っかけていきます。看板が出来上がると一文字ずつ書き毛糸の上から貼り付け「綺麗！」と自分たちで作った看板をみて達成感を感じる姿が見られます。



今までにごっこ遊びなどで作ったジュースや食べ物などお店の棚に並べ、「本当のおみせやさんみたい！」とイメージを更に膨らませる子どもたち。字を書く、毛糸を引っかける、釘を打つ、商品を作る等、自分の得意を活かし、一つのお店ができました。

「きのかおりがする おいおいコサージュ」

木片を組み合わせて、棒状でつけるコサージュの土台をつくりだす。「この形、ハードみたい！」「手裏剣！の形にした！」と、自分の好きな形に組み合わせます。「棒状の時に付けるの楽しみ！」と、期待も高まっています。



「いらっしゃいませ はなび たいかいへ！」

ビニール袋に花火をたくさん描いた子どもたち。「どれとどれを重ねようかな」と悩んでいます。そして子どもたちが実験してみたいとダンボールに花火の形の穴を開けて中にライトを入れます。小さいライトを選別して中に入れます。穴からこぼれる光を見て「あ！花火の光になっている！」と嬉しそうに見ています。「もっと大きくしたら見やすいかも」と太い鉛筆で花火の穴を色々なところに開けます。「ここ開けるから、太くして？」と思いを伝え合い、協力している姿があります。みんなで考えながら作った光の花火もご覧ください。



「ギョギョ トントン おうちをつくろう」

木の家に仕切りを作っています。「布を切って、釘で打ったら取れないしあぶくないじゃない？」「それいいね！」細く切って付けたらいいんじゃない？」「布を切ってカーテンのように垂らすと」「すごい！壁みたいになった！」「これならちっちゃいお友だちも危なくないね！」「こっちにも布付けてみようよ！」「葉のお家は、葉を縛り直した方がいいかも。」「もっときつく縛ったらいいんじゃない？」ポレポレストーリーから進化したひがしグループのお家が完成しました。



「さらさら ばしゃばしゃ かわのせかい」

「毛糸をつけたら川っぽくなるかも！」「指編みしたのつけようよ！」子どもたちの間で流行している指編みを川に取り入れることになりました。「青い毛糸にする！」「どのくらいの長さがいいかな？」友だちと相談し合いながらつくりだす。「ここに結んだら川みたい！」川の先に毛糸を結びつけて川の流るるを表現します。子どもたちの様々なアイデアが詰まった川になりました。ポレポレストーリーから変化した川をお楽しみください。



ポレポレストーリードキュメンテーション① にしグループ

2023年12月1日(金)

学校法人正和学園 幼保連携型認定こども園 正和幼稚園

何を調べる？

にしグループでは今までの活動や遊びを振り返り、「Tシャツやダン作ったり機織りしたりしたから洋服について調べたい!」

「川に行ったから川調べよう!」
「野菜育てたから野菜について調べたい!」と様々な意見が出ます。
「どうやってきめる?」
「多数決が良いと思う!」
子どもたち同士で話し合い、多数決で決めることになりました。



友だちに意見を伝えたり、反対に友だちの意見を尊重したりしながら話し合っています。話し合いの結果、川について調べることになりました。「町田の川にしよう!」パソコンで川を調べていると「鶴見川」と「真光寺川」が重なっている場所を発見した子どもたち。「この2つの川を調べてみようよ!」みんなの意見がまとまります。



「川の長さどれくらいなんだろう?」
「川のはじまりとか終わってどこ?」
「生き物っているのかな?」
様々な疑問が湧きます。
「川ってこんなに長いんだ!」
「鶴見川って東京湾まで繋がってるんだ!」
気付いたことを書きだしています。

川に行ってみよう!

「川の水ってどれくらい冷たいんだろう?」「川ってどれくらい深いのかな?」
「川に行って調べてみよう!」
実際に「鶴見川」と「真光寺川」が交わる「開戸親水ひろば」に行くことになりました。

「川きれい!」

「カモがいる!」



ひろばに到着すると実際に川の近くまで行くことができました。カモが泳いでいる様子や川岸の植物、石、川の流れや水の冷たさなど様々なことに興味を持つ子どもたち。

「石がツルツル!」
「こっちの水の方が冷たいよ!」葉っぱを流して、川の流れている方向や速さに気付く姿もあります。

「石がツルツル!」



「冷たい!!」



たくさんの発見をした子どもたち。園に戻ってきてから発見したことを友だちと伝え合います。今後、どのように発表するか話し合いを進めていきます。

ポレポレストーリードキュメンテーション② ちきゅうぐみ にしグループ

学校法人正和学園 幼保連携型認定こども園 正和幼稚園

2023年12月8日（金）

川を作ろう！

鶴見川と真光寺川を見に行ったにしグループ。
「川を作りдай！」、「ビニールとかプチプチで作るのはどう？」
友だちとアイディアを出し合い、素材を使って川を表現することになります。



「早く流れてたところ！」



ビニールやプチプチの素材を使って川を表現します。
「川が2本に分かれてたから2本作ろう！」
「ビニール揺らすと水の音がするからビニール使って作ろうよ！」
「プチプチが泡みたいに見えるからプチプチ使おうよ！」
実際に見た川の流れや音を思い出しながら、イメージを膨らませて作る姿が見られます。



「かもとかはともいたよね！」
「いっぱい石が落ちてた！」
「貝殻もあったよ・・・！」
川周辺に落ちていた物や生きものを
粘土や画用紙を使って表現します。



「川の色ってどんな色だっけ？」



川の色塗りをする子どもたち。
「茶色と白と青が混ざってた！」
自分たちが見た川を思い出しながら
塗っていきます。



みんなで考えて・・・

発表の練習をします。
「お客さんはここに座ってもらって、司会さんはここに立とう！」
「この時に川揺らしたらいいんじゃない？」
実際に行ってみて、自分たちで修正をしたり、当日のことを考えながら
進める姿があります。
「本番緊張するな・・・」「見てもらうの楽しみ！」
グループみんなでたくさん話し合いながら練習に取り組んでいます。



5歳児の様子

2024年 1月30日 (火) 晴れ

川を見に行こう！

開土親水ひろばに鶴見川を見に行きます。

「川凍ってるかな？」

「魚いるかな？」

2回目の友だちも、始めて行く友だちも川の様子に期待を膨らませる姿が見られます。

川に到着すると大きな石に興味を持ったり、前回行った時に比べて川の深さが浅くなっていることに気付いたり新たな発見もありました。

季節ごとの川の変化への興味も深まっているため、引き続き川を見に行く機会を作り、川への関心を深めていきます。



手編みをしよう！

「編み物したい」と、手編みのやり方を調べてやってみることにします。最初は、「難しい。」「次どこやればいいの？」

と、保育者と確認しながら編んでいましたが、繰り返すうちに「ギザギザにしてから編むんだね！」「そらにじの時にやった事ある！」集中して編み進めていきます。

「これでマフラーできるかな？」「お花の髪飾り作りたい！」

と、編み進めるうちに作りたい物の想像も広がっていきます。

「そうやってやるのか教えて！」「ここの指をこうやってやるんだよ！」友だちに教えている姿もあります。

これからも、色々な編み方に挑戦したり、編んだものを使って製作していきます。



5歳児の様子

2023年12月9日（土）晴れ

ポレポレストーリー

ひがしグループは、家の作り方について発表します。実際に藁のお家の骨組みを使って保護者に説明し、一緒に藁と木のお家を作りました。

「ここにもっと藁を付けた方がいいかも。」

「ここを繋げるんだよ！」

と、保護者とコミュニケーションを取りながらお家を作ります。「屋根もつけたい!」「色ぬりたい!」と、今後の活動にも期待を寄せています。



にしグループは、川について発表します。自分たちが見に行った鶴見川や境川でみたもの、聞いたものをビニールや粘土、素材で作った川を使って表現します。

最後には、保護者と一緒に川を散歩します。

「こっちにはカモがいるんだよ！」

「石は粘土で作ったの！」

と、保護者に紹介する姿があります。

みなみグループは、花火について発表をしました。よるようちえんで見たナイアガラや噴出花火を身体や紙鉄砲で表現したり、素材を鳴らして花火の音を表現します。

「打ち上げ花火の大きさは20メートルです！」

と、花火の大きさがわかるように保護者と一緒に毛糸を伸ばして体感します。

みなみグループの花火大会、大成功です！



きたグループは、映画館をしました。自分たちでストーリーや役割を決め、自分の担当する仕事をを行います。

「チケットどうぞ!」「この席に座ってください!」少し緊張しながら、お客さんを案内します。スクリーンに紙芝居をうつしながら、物語を読みきたグループの映画館ができました。

「こっちにきてください!」と、出口まで案内する子どもたち。達成感に満ちた表情です。



5歳児の様子

2023年 11月24日 (金) 晴れ

家をつくってみよう！

レンガの柄が描かれた素材を使って家を作る子どもたち。

パソコンで家の形を調べています。

「2階建てにする？」「屋根は三角がいいよね！」

友だちと相談しながら家の形を決めています。

「僕屋根つくる！」

「じゃあ私は家組み立てる！」

役割分担しながら進め、徐々に家の形ができてきています。

「強い家を作るにはどうしたらいいかな？」

家の骨組みの部分にも興味を持つ姿が見られ、建物への興味が広がっています。



川を見に行こう！ にしグループ

開戸親水ひろばに鶴見川、真光寺川を見に行きます。

「鶴見川だ！」行きのバスの中から川を発見し期待を膨らませます。

ひろばに到着すると実際に川の近くまで行くことができ、カモが泳いでいる様子や川岸に落ちている石、川の流りに興味を持ち観察します。

「石がツルツル！」「カモがたくさん泳いでるね！」「こっちの方が流れがはやい！！」

「こっちの水の方が冷たい・・・」様々な発見がありました。園に戻ってからも気づいたことを友だちと話し合います。今回発見したことを子どもたちと話し合いながら川への関心を更に深めていきます。



全体の様子

2023年10月21日(土) 晴れ



どっちが早く流れるかな

井戸から拾ったどんぐりを流して
いきます。
「遅いのと速いのがあるね！」
「速いのが小学生で遅いのがおじい
ちゃんなんだよ！」
どんぐりの流れる速さによって、
年齢に見立てている姿が見られています。
「もっと水を流してみよう！」
繰り返しどんぐりを集めて流してい
きます。



寒いからたき火しよう！



園庭に出ると「今日寒いね！」「寒いからたき火をしよう！」
「枝を集めてくる！」
枝や枯れ葉を集めてたき火の準備をしています。
「この葉っぱは燃えやすいんだよ！」
たき火をしたことのある、年長さんが火が付きやすい葉っぱを
探して周りのお友だちに伝えています。
「これで付けてみよう」保育者のファイヤースターターを使って
火をつけていきます。
「付いた！」「あったかいね！」
付いた火を囲んで暖を取る姿が見られています。



この色混ぜたらどんな色？



お部屋では指絵の具を使って
絵を描いていきます。
絵の具の混ざる様子を見て
「この色綺麗！」
「素敵な色だよ！」
お友だちとできた色を見せ合う
姿が見られています。

「この色混ぜたらどんな色になるんだろう？」
混ざっていく中で分からない色を見つけると
更に混ぜてみようとする姿が見られています。



大きな川を作りたい

パイプを作って大きな川を作ろうと頑張っていた子たち。「ここにこれを繋げよう!」「ここにパイプをつけたら、水がここから出るんじゃない?」など友だち同士話しながらパイプを繋げて遊んでいました。自分たちが出そうとした場所とは違うところから水が出てくると、「どうすればいいんだろう?」と、違うパイプを繋げてみたりパイプの角度を変えてみたり、試行錯誤していました。

また、パイプから出た水で川を作ろうとする姿が見られました。近くにあった砂で壁を作ることで、水が流れるように工夫していました。

虫たくさんあつめたよ

園庭でバケツに虫を集めて遊んでいました。虫を顔の近くまで持っていき観察する子どもたち。保育者を呼ぶと「これ、カブトムシの幼虫だよ! だっておしりがオレンジ色だもん!」と教えてくれました。

その後も虫探しに熱中し、「これはカブトムシの幼虫かな?」と観察したり「初めて見た! この幼虫何だろう?」とお友だちと話し合ったりしていました。

日々虫探しをしながら観察しているからこそ幼虫の違いにも気がつき、その違いによってどんな虫になるか考察する姿に驚かされました。



川の流れるを感じる日々の積み重ねから川に関心を寄せて



井戸・ビオトープ

境川



鶴見川の源流

園庭のビオトープや井戸で遊んだり、地域の川を見に行ったりと日頃から川や水に触れる機会が多い子どもたち。
そこから、川の流れるに興味を持ち始めました。

そこで、自分たちにとって身近な場所である町田市を流れている川を調べることになりました。



調べていくうちに、真光寺川と鶴見川が交わる場所を発見し、
「川が合流する場所を見てみたい！」
「2つの川って違いがあるのかな？」

2つの川について詳しく調べることになりました。

まずは、川の長さや川にいる生き物について調べて書き出してみます。



開戸親水ひろばへ・

真光寺川と鶴見川の2つの川が流れている開戸親水ひろばに行きました。
川岸まで下りることができ、実際に川の中に手をいれて川の流れの速さや深さを実感したり、川周辺の環境や生き物を近くで観察したりしました。

川に到着！



真光寺川

飛び石を渡って移動



鶴見川

「ここはゆっくり流れてるね。」



「石がたくさん落ちてる！」

「カモが泳いでる！」

「魚はいるかな？」

「葉っぱを流してみよう！」

「すごい速く流れた！」



色々な大きさや形の石を発見！



カモを発見し、他の生き物も探します。

「ここは深いね！」



場所によって川の流れの速さや深さが異なることに気づいた子どもたち。

「川って全部同じ深さじゃないんだ！」

「早く流れているところとゆっくりなところがあるんだね。」

実際に川を見に行ったことで新たな発見がありました。

葉っぱを流して川の流れの速さを調べています。

さらさら ばしゃばしゃ かわのせかい

「川を作ろうよ!」「鶴見川と真光寺川両方作ろう!」

身近な素材を使って自分たちが見に行った2本の川を表現することになりました。

実際に見た川の流れ、色、音などを思い出しながら作ります。川の流れの速い部分は梱包材をいくつも繋げて表現します。

また、「茶色と白と青が混ざってた!」「場所によって色が違った!」
友だちと相談しながら川の色塗りもします。

「波のところは色を変えよう!」



「小さいプチプチ泡みたい!」

【生き物を動かす】



【司会】



当日は役割分担をして保護者の方々に向けて
2本の川を紹介します。

上流と下流に分かれて川を動かしたり、毛糸を引っ張って
川の長さを表現したり、作った生き物を動かしたりと
自分たちで作ったものを活かして発表します。
最後には手作りの飛び石の上を保護者の方々と渡りました。



石や生き物を作る
子どもたち。
粘土を使って石を表現したり、実際の写真を見ながら生き物を描いたりします。



「何を入れたら川の音になるかな?」



川の深さを毛糸で表現したり、
ペットボトルに水を入れ、川の音を表現したりします。



【川を動かす】



保護者と一緒に飛び石を渡りながら
自分の作ったものを紹介しています。

実際に川を見に行き、身近な素材を活用して川を表現したことから、子どもたちの川への興味がさらに深まりました。
引き続き川に行く機会を作り、季節ごとの川の変化に注目したり、川マップを作ったりと川への興味を広げていきます。



実際に川に入り、冷たさを感じていました。
また、透き通る水を覗き込み、生き物を探していました。
自ら感じた体験を話し合い、共有しました。



河川の近くの森林で講師の方より暗い森と
明るい森についての話も聞きました。



森林を下っていくと
川の音が聞こえてきます。



2023年9月16日(土) 〔奥多摩散策〕
「水の流れるを感じる日々の積み重ねから
川の生物に関心を寄せて」

幼保連携型認定こども園正和幼稚園

「水の流を感じる日々の積み重ねから川の生物に関心を寄せて」
～奥多摩散策～

今年度、正和幼稚園では水・川の活動を多く取り入れています。

ぜひ、川と森のつながりなどを体感してきましょう!

奥多摩散策では溪流散策をウッドリバーを制作した森と市庭を行いたいと思います。



～日にち～

2023年9月16日(土)

～時間～

JR青梅線奥多摩駅 10:00集合
終了次第現地解散となります。

～持ち物～

タオル、着替え、
水筒、レジャーシート
濡れてもよい靴
(ウォーターシューズ)

森林散策(奥多摩町海沢 901-4 付近)、溪流散策

※万が一お子様の怪我があった際は、時間内に限り園内での保険の適用内となります。
保護者様のお怪我にございましては自己責任となりますのでご了承ください。
また当日何か緊急の連絡がございましたら070-3948-7398にお掛けください。
当日のみの番号になりますので、普段のお休み等のご連絡等にはご使用しないよう
よろしくお願い致します。

この企画は、河川財団助成金により実現しています。

かわ

きょうはつけんしたことをえでかいてみよう



に歳児 なまえ 十 十 おりみ

おこさまのかんそう(おとなのかたがご記入ください)

川がつめたかったです、いも虫が
こわかったです。山がかわいかったです。



おうちの方からの感想

積極的に自分からすすんで川に入ってい
っていたので驚きました。自然と関わり
に気持ちが見られて嬉しく思いました。

かわ

きょうはっけんしたことをえてかいてみよう

3歳児 なまえ おおしろ あおい



おこさまのかんそう(おとなのかたがご記入ください)

かわのなかにちいさいしやえだ、
かにさんがいました。せんせいとおみ
せごっこをしてたのしかったです。

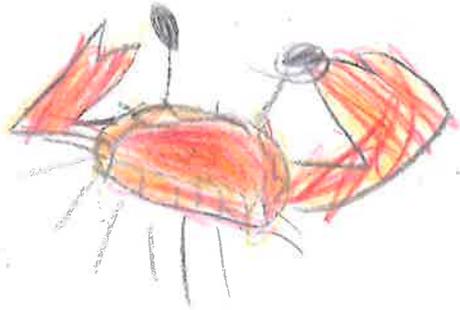
おうちの方からの感想

自分、ふれあえて貴重な経験をさせてい
たきました。先生と楽しそうに川遊びをし
て、また参加したいと思いました。
ありがとうございました。

かわ

きょうはつけんしたことをえでかいてみよう

2歳児 なまえたにゆき



おこさまのかんそう(おとなのかたがご記入ください)

かにと竹まきのかた
たのしかったです。

イモムシ かわいいかったです。

おうちの方からの感想

川がとても冷たくて 気持ちよかったです。

私も自分で見つけました。

子どもが どん どん 川に入っていくのをみて

大きくなるよと 思いました。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-066	水の流れるを感じる日々の積み重ねから 川の生き物に関心を寄せて	幼保連携型認定こども園 正和幼稚園



学習活動名：奥多摩散策
 日付：2023.9.16
 見られた子どもの姿：
 山の溪流に実際に入り、五感を使って水の冷たさや流れの速さを味わった。
 川の周辺にいる生き物や植物にも想いを寄せ、探索する姿が見られた。
 社有林では、手入れをしている森と自然のままの森を実際に見て講師の話聞き、光の当たり具合や生長の違いを感じた。



学習活動名：ポレポレストーリー（5歳児表現活動・発表）
 日付：2023.12.9
 見られた子どもの姿：
 親水ひろばで見てきた川の様子を素材を使って再現した。上流と下流の流れの速さの違いや、石の大きさ、川で見た生き物を体や創作物で表現し、保護者に発表した後、創作した川を一緒に渡る体験をした。



学習活動名：はるのかぜアートストーリー（創作展）
 日付：2024.3.9
 見られた子どもの姿：
 2月に再度親水ひろばへ行き、季節ごとの変化があるかを見に行った。子どもたちはあらかじめ川の姿を予想して、生き物や川の姿に変化があるのか期待を込めていた。結果、川の水量に違いはあったが、さほど大きな変化は見られないことに気付いた。
 それをもとに、アートストーリーで川を再現した創作物を作成し、他学年や保護者、地域の方々にも川を渡る体験してもらった。

注) 写真は校外や学校・教室内での学習活動ごとに添付してください(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-066	水の流れるを感じる日々の積み重ねから川の生き物に関心を寄せて	幼保連携型認定こども園 正和幼稚園

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

助成事業の主な実施箇所

